

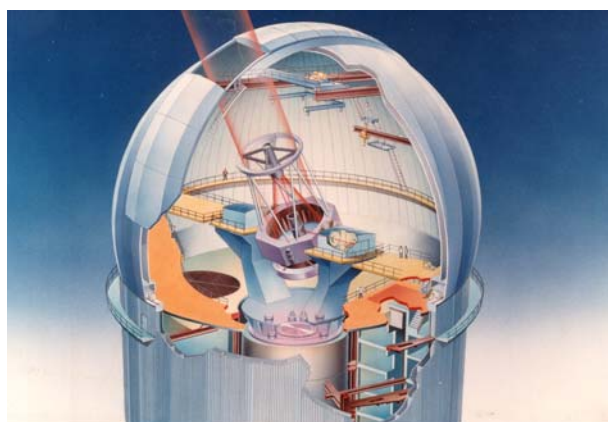
* JNLT 中桐新聞 154号、155号発見

アーカイブ室新聞 58号に「大型望遠鏡室新聞 (JNLT 中桐新聞)」のデジタルアーカイブの記事を書いた。この新聞は1991年4月15日から1993年11月22日まで153号発行されたと書き、全てをデジタル化し、アーカイブした。この新聞の主筆であった筆者は1993年11月27日から3週間ばかりハワイの出張し、翌年4月からハワイに赴任する予定であったし、すばる室会議の報告は田村さんに代わっていたので、この153号でJNLT 中桐新聞は終わっていたと思っていた。

古い資料を整理していたところ、ハワイに到着して、154号、155号を発行して日本に送っていた原稿を発見した。たぶん、この2号は日本で配布される事はなかったであろう。いまさらと思うが、153号で終わっているより、155号で終わる方がいいのでこの2号もデジタル化しアーカイブしたので紹介しておく。

このハワイ行きは、突然の事故で急遽出張となったものであった。当時、すばる建設工事立会いでハワイに滞在していた宮下君が、アキレス腱断裂という大怪我をし、山頂視察が出来なくなったため、中桐が急遽、派遣される事になったのである。そのあたりの事情も154号に詳しい。153号までとは全く違った内容になっている。153号まではすばる室会議報告が主で、裏面には当面のスケジュールが記載されていた。154、155号はハワイ滞在中の日誌である。ハワイで生活始めた様子が読み取れるのだが、私事の日記のようにも読める。日記を公開する気などないが、これは公務で出張した日誌という位置づけである。

紙面の都合で、「すばる」の完成予想図2つを紹介します。現在、実際に完成した「すばる」との違いの大きさに愕然とするではありませんか、長期にわたる大きなプロジェクトならではの起きた現象でしょう。



右の写真は、1991年7月15日発行のJNLT 中桐新聞14号に掲載されたものです。当初は普通の丸い屋根のドームが考えられており、大きく変化した事がわかります。

国立天文台・大型光学赤外線望遠鏡計画推進室	大型光学赤外線望遠鏡新聞	1993年11月29日(編集発行責任者:中桐正夫)
配布先 小平、海部、西村S、西村T、成相、近田、齋牛、佐藤、安藤、家、佐藤K、田中M、佐々木T、市川S、山下T、林S、渡部、野口、中桐、宮下、沖田、島居、三上、太田、能丸、上野、田辺、田中H、浜部、市川T、吉田S、綾に、高遠、田村、西原、高見、渡辺、森、会計課、梨本、山口		
<p>ハワイ滞在報告: (以下の事情でしばらくは、大型光学赤外線望遠鏡新聞はハワイ報告を中心に編集・発行することにします。)</p> <p>毎週のすばる室会議記録は田村氏が担当になりましたので、別の形で出ることを期待しています。</p> <p>1) ハワイ・マウナケア山頂の建設現場では、1992年7月の起工式前から地盤改良のための工事が開始されていましたが、大型光学赤外線望遠鏡の施設工場の建設開始に伴い、宮下君が断続的に現場立ち会いのため、派遣されていました。今回の出張は1993年9月の半ばから派遣され、山頂で活躍しておられ、建設現場のニュースを次々と知らせていただいております。ところが11月12日、久しぶりに楽しんでいたテニスのプレイ中にアキレス腱を切断するというアクシデントが起きてしまいました。そこで滞在を急換切り上げて11月20日に帰国されました。これに伴い中桐がピンチヒッターとして派遣されることになり、11月27日ハワイに着きました。12月19日帰国予定。</p> <p>2) 今回の宮下君の代理の派遣については、何人かの人が候補になりました。佐々木T、沖田、島居、三上、中桐の5人でした。中桐は行きたいと希望を出し、沖田君は行ってもいい、他の人はそれぞれにいろいろな事情があってだめという意向でした。沖田君は中桐が行くことを希望しているならと辞退して中桐に決まりました。中桐は来年からハワイ現地入りを希望しており、そのために今回短期間行ってみようという積りもありました。</p> <p>日誌: 1993年11月27日(土)</p> <p>午前中: 天文台でやり残したことを処理。小平さんから天文台に電話。KM23の様子、特に真空蒸着装置の三菱の方針(PSIに固めて進めているらしい)について報告を聞いた。林 左総子氏と懇談。12:00: 過ぎ: 帰宅。ハワイへの出発準備</p> <p>15:10: 羽田に出发。武蔵境から東京駅までJR三鷹で中学生に席をゆざられる。ありがたく Thank you。中華航空での羽田発が便利かと思うと以外にそうでもない。しかし、小生の場合は比較的うまく接続があって良かった。モルモル羽田駅下車、空港循環線(NZ)で5分で羽田国際線ビルへ(中華航空のみ)16時45分には到着。中華航空しかないから、非常に空いていて、間違ってもない。しかし間違ってもなく空いて安心なのだけれども、非常にロカ空港の感じ(aka the inter island より)で、成田の華やかさ、これから外国に行くぞという気概を損ねることは、感覚的の大きなマイナス。</p> <p>17:20: 定刻にホテル747は動きだした。21時頃遅い夕食、25時頃早い朝食、26時頃(H)ワイ時間: 午前7時頃、無事ホテル到着、今回は3重連結のバスで入国管理へ。入国審査は簡単に通過、What kind your business? Mauna Kea Observatory. Astronomer? yes. 3 weeks staying? yes. 以上でおわり。税関審査はパス。</p> <p>8:45: 1便前のヒロ行きに乗れた。間違えて成相さんに9:45ヒロ着と伝えたとおりにヒロ着、成相さんの迎えを受けて、Hilo Lagoon Centre に到着。臨時休憩: レストランで昼食(天丼: 8\$)、夕食は三菱インターナショナルの新倉さんを迎え、3人で目の飛び出るような高い夕食、一人\$63.00。21時前にホテルに帰宅。成相さんにFAX2通三鷹に送信依頼。!!!!!!</p> <p>飛行機は空いていて、3人分の席で横になっていたけれど、やっぱり寝ていないので眠い。成相さんと昼食に行く前、10時半頃から、11時45分まで、14時から16時までホテルで寝る、本当に寝ていた。目覚ましも無く予定の時間15分前に目をさましていた。ホテルからヒロに向かう飛行機からの眺めはいつものように、コナ側は晴、ヒロ側は曇の下、マウナロア、マウナケア、フアラライは曇の上に青空の下美しい姿を見せていた。</p> <p>成相さんの教育:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ふじレスヨランで、ウエイトレスが水をおいた成相さんの隣の席でなく、向かい側に座ったら、たぶん隣に座るべきだったんだよ! 2) 大木マツコに会ったとき、6年前の小生をあまり覚えていなくて、見たことのある人だがその辺で作業をしている人かと思ったとの言葉に、身なり、振る舞いがマツコに見えたんだ。どこでも人が見ていると思ってきちんとしなければ、たとえば、草履でレストランに行かない、きちんとTPOで行く。 3) 夕方三菱インターナショナルの新倉さんと会食をする事になったとして、一緒に行くことになり、ヨットクラブが今日は休みで、ヒロで一番高いレストランに連れて行くからな、うんと高いが付き合ってもら、今後の会食を考える勉強だ。 4) 新倉さんとの食事だということで、草履ではなく、靴を履いて出ていたのだが、ヒロで一番高いレストランということで、そのとき着ていたTシャツではまずいですね、といったらアロハに着替えてこいと戻された。 5) イタリアンレストランで、小生のところにコービーが来るのが少し遅くなったことをみて、おまえの返事は注文になっていなかったんだ。それを聞いた三菱インターナショナルの新倉さんは、いや今一つお持ちしますとウエイトレスは言いましたよ、とこれを先にどうぞと自分のコービーを譲ってくれた。そして待つまでもなく、コービーが運ばれてきた。 6) イタリアンレストランで小生の椅子あたりをのぞき込んでいたので、何かかと思っていたらそれから15分ぐらいして、中桐君椅子は前に引いて、浅く膝掛ければ、顔を皿に近づけるために前に出さないでも食べられるよ。それはウエイトレスがサービスしやすいためにも必要なことだよ。成相さんと椅子の位置の違いをみたら、5cmとは違ってないのだけれど。これを新倉さんの前でやり、新倉さんに同意を求めると彼も多少閉口している様子が見える。初めての食べにくいイタリア料理なんだから!!!! 7) 昼食を食べて、佐藤課長が連れて行けというナッツ工場への途中、今度中桐君が借りるツルーパーは190馬力(成相さんの車は110馬力)で後ろのサスペンションが堅いから、宮下君でも俺と同じくらいのスピードで運転していたのでおまえも気をつける。 		

(裏面に続く)

日誌：1993.11.28

ヒロは毎日かもしれないが、今日は雨が降ったりやんだりの天気。今日一日、成相さんは約束があって中柄に付き合えないと言われていた。一日ゆっくりした。今日は車もないし、日本時間の9時過ぎにすばる室に管理部長の件を連絡するので遠くにも行けないので近くを散歩がてら、見て歩いたが、出会った人に2度目があったときは、Hiと声をかけてくれる。スーパーで探し物をしていたら何をお探ですかと若い女の人が声をかけてくれる。また、町ですれ違う人でも、helloと声をかけていく人もいる。こんなだから英語に不自由でも小生は明るく生きて行ける。

14時10分：三鷹すばる室に電話：林左絵子氏が出て、管理部長からの台長がコニクに行きたいのでダイックの委任経理金を使うかとの件。コニクでは鏡材が完成した頃、ヒロがあると聞いているからそれに合わせたらいかがかと伝えてある旨、海部さんに伝えて欲しいと伝言した。

20時35分：増山さんから電話：11月30日の庶務の検査のため出勤簿(ノートの人たちの分)の整理が必要なので控えがどこにあるかを聞いてきた。
22時20分：野口氏から電話：三菱の藤原さんから言われているが、アクチュエータの返却はどうなっているか？ 伊藤さんから送ってもらい、使用が終わった旨連絡して、返送の手配をお願いし、11月26日に便を回すとの連絡をもらい、大型トラックが60kgのアクチュエータ1個を受取に来たのでびっくり、重いので運転手と小生だけでは無理なので、庶務の斎藤君と小野寺氏に手伝ってもらった。その旨返事。

日誌：1993.11.29

今日から始動、Ifa Hilo に7時に行く約束で、朝飯、弁当のことを考えるとどうしても6時には起きなくてはならない。6時50分頃成相さんからロビーに來いと電話、Ifa Hilo にいた人に紹介、とても覚えきれないが、Mio Needam、IRTFの1998年に定年を迎えるという人、この人には6年前にずいぶんお世話になったような気がする。他にアトリー・ピックスにも挨拶できた。

成相さんのデスクのそばで飯事務所の件30分も議論したのだろうか。成相さんは限られた情報を自分流に解釈して外と交渉をして、どうにも動きがとれなくなっている。成相さんにこれこれについて調べてくれという依頼があると、物事がその方向に進むものと思ってしまうようだ。いろいろ情報を得て議論して物事を決めて行くのだから、議論の途中で勝手に解釈をして外に向かって言っでは自分が困ることになる。そしてこれは総務がきちんと情報を流さなかったのが悪いとなっていくようだ。

この日の、成相さんとの話でいちばん驚いたのは、FAXマシンの話をしていたとき、成相さんがFAXは進歩が激しくて、前回買ったときはこんなマシンは考えられなかった、今はこんないい機械がある。お金は言えはいくらでも送ってもらえるのだから、またいい機械がができたら買えばいいと言ったこと、いくらでもお金は送ってもらえると思っている、驚いた。

7:00：Ifa Hilo：そこにいたみんなに紹介をしよう。そこへの道中、昨夜はひどい雨だったですね、と小生が言ったことを受けて、今日はたぶん大雪で山頂には登れないだろう。アトリーに聞いたところ、山頂の状況をマックの電話で聞かせてくれて、No Problem.

8:00：INQUE HAWAII にアパートの手続きをしに行く。12/1-12/15分の部屋代を支払う。3年前につくった200TC22枚。

8:30：BANK OF HAWAII へ行く。CHECKING ACCOUNT と SAUING ACCOUT の両方を開きたいと伝えたのだが、銀行の偉そうな女の人は、まずセリチNo.を取ることから始めなさい。結局セリチNo.を取ってからもう一度出直すことになった。

8:47：セリチ オフィス：セリチNo.を申請する書類を提出。1週間ぐらいで来るのかな。

8:55：ハレボハク：4WDを11/29-12/17の間借りる契約。なつかしい馬場さんに会った。今は会社を他の人に売って、マツパーとして働いているそうだ(成相談)

9:20：山頂に向けて出発。小生のことをひどい運転する奴だとくそみそに非難している本人の運転も後ろから見てのとげこつひどいものだ。まず、コンストラクションへ行き、シェモの他に紹介。食堂、トレ、ジュース、コーヒなどを教えてくれた。成相さんは11時にビザターセターで人と待ち合わせをしていてとかで、ルネの駐車場で会おうということに分かる。ルネのサイドドアからの入り方を教えてくれた。ノジさんに挨拶、食堂にいた人は観測装置WSに來日したホダップだったように思うが声はかけなかった。

ハレボハクのベランダで成相さんの方針を一くさり、ハレボハクに案内するのは学長、審議官ぐらいで、他はコンストラクションにしか案内しない、佐藤さんといえどもコンストラクションにしよう。

お客を待つて上がるから一人で、大成ハワイの事務所に行って自己紹介をしておけと言うので、一人で上がる。途中グレーターと会い、路端に止まった車2台を見た。大成ハワイの事務所で玉栄さんそのほかいろいろの人と会った。成相さんがクックの北沢さんという人を連れてきて昼食でワーカーが作業していない間に案内していたのでそばで話を聞いていた。

昼食を大成ハワイの食堂でみんなと食べる。自分でつくって持って行った弁当を食べた。成相さんはサクスメイトンでたくさんもらったからといって、大きな弁当を持ってきていた。食事が終わったら、成相さんは北沢さんと下山。小生は玉栄さんの案内で工事現場を見て歩く。梯子を登って、ピアの上、リッカーなど良くみせてもらった。

その後で、モニターカメラを見に行ったところ、ガラスヒーターの電池の電圧が異常に低く、9.4Uしかない。今日は作業をするつもりがないので、明日代わりの電池を持って行って作業をしよう。今回は高山病の頭痛が少し出てきたので、玉栄さんに今日は最初の日なので早く下山すると挨拶をしており、途中非常に眠くなり、ルネの手前で車を脇に止めて少し眠る。コンストラクションの駐車場に止めてしばらく仮眠、中でジュースを一杯飲んで下山。後ろから速い車に追いかけられたがかわらず、走った。

SURE SAVE で買い物、レジで年齢を聞かれていることがわからなくて困ったが、やっとわかり51才と伝えと、SENIOR DISCOUNT だといって、ドル以下を引いてくれた。どうも奇妙な気持ちだ。

今日は下りてきてからも、頭がいたい。どうも風邪をひいたらしい。速く寝てしまえと8時頃から寝ていると、9時頃だったか電話のベルで目をさましたが、電話は切れて、その後はかかってこない。その後、これだけワープロを打った。頭の痛さはとれてきた。

成相さんの教育：

1)朝、7時前 Ifa Hilo へ向かう車の中、昨日のレストランでの椅子の位置の悪かったこと、それに起因する姿勢の悪さ、口のもっていき方の悪さを外国人が日本でうどん、そばを音をたてないで食べようとするのがこっけいなと同じでみっともないと延々途中半分くらい説教。

国立天文台・大型光学赤外線望遠鏡計画推進室	大型光学赤外線望遠鏡新聞	1993年12月02日 (編集発行責任者: 中桐正夫)
-----------------------	---------------------	-----------------------------

配布先	小平、海部、西村S、西村T、成相、近田、唐牛、佐藤、安藤、家、佐藤K、田中H、佐々木T、市川S、山下T、林S、渡部、野口、中桐、宮下、沖田、鳥居、三上、太田、能丸、上野、田辺、田中H、浜部、市川T、吉田S、綾に、高遠、田村、西原、高見、渡辺、森、会計課、梨本、山口
-----	--

ハワイ滞在報告:

日誌: 1993.11.30(火)

今日は毎日かもしれないが、今日もものすごい雨が降ったりやんだりの天気。今日 Ifa Hilo に行くのに道はまだ不案内だと書いておいたら、6時50分に出かけられるかと電話がかかってきた。5分でOK。駐車場で落ち合う。今朝はバッテリーのことから始めたので、真ん中の工場のようなところに入って成相さんと話始めた。今日は役割分担のことから、佐藤さんと付き合ひのことを議論、またまた1時間30分に及んでしまった。8時に新倉さんと約束があると言っていたのに、議論のしすぎか。

8時半から小生はバッテリーを車に載せて、Ifa Hilo を出発。成相さんは、アホリックにハローと入っていく。Ifa Hilo を出た時間をはっきりとは覚えていないが、道を思いだそうとナビゲーションシステムなどのあるナビゲーションを探して走った。探すほどのこともなかったのだが、雨がものすごくヒロはこんなに雨がひどかったかと思いついている。続いてコネクトを通過して200号へ。一路ケックIIに登る。インターチェンジで一休み。ルネサンスのレストハウスで休憩。ものすごく太った女の人が掃除をしていた。また、一路山頂へ。まずKECK IIの脇に車を乗り付けて、エンジンカムのバッテリー交換をする。昨日9.35U立ったカラスター用のバッテリーの電圧が今日は7.53Uまで下がっていた。

トムの工事現場で LEON DALY の Clifford Y.L.Lau という若者が配筋の写真を撮っているところに出会った。大成ハワイ事務所を下りるとき受電室のコンクリートのところを通った。大成ハワイの事務所に寄り、玉栄さんに挨拶をして、大成ハワイのネットワークに会った。宮下の代わりに来たナナリだと伝えた。何でも聞いてくれと言ふ気の言い奴に見えた。昼食をたべて今日は早々に下山。

道を思い出すため、今日はワイミアを通過して帰ることにした。サドルロードを右折してしばらくの岩の中道の道が三蔵から初めてくる人たちにはいいな!と思いつつ飛ばした。ワイミアでCPHTを左手にみて、次の信号を右折したら、カラスターに入ってしまった。1ターンして、KECKを左手に見て、大雨の中ひたすらにヒロに向かう。

カラスターに着いたら成相さんも丁度帰ってきたところだった。飲みきれないと言ふウイスターを引き取って部屋に帰り、三蔵に電話をかけるための用意をして、Ifa Hilo へ。蓄電池を充電にかけておいて、部屋に入ってワイミを覗いているところに、カラスター、ガスが帰ってきた。カに宮下の代わりに来た挨拶。

成相さんの部屋から帰るとき、11月9日のあいが悪いので歩いて下りようと階段に出たら、非常階段で中からは出られるが、外からは入れない階段で参った。閉め出されたらと泡を食って、外の人に助けてくれと言ったが、声を聞いた人は、良く事情がわからないで行ってしまった。そうだと1階まで行けば何とかなると下りると3階のドアが開いていた。あー助かった。

Ifa Hilo 事務所施設課に電話、村永さん、課長はいなくて、平林さんにヒロに着く時間を聞いた。宮内さんには11月30日の頼みを聞いた。なつかしいカラスターのあるスーパー群の所に行き、封筒を買った。帰りにヒロ郵便局を探して、ヒロ空港の所を一周して帰ったがくらくて良くわからなかった。明日出直そう。アホリックに帰り、宮下君にEメールの使い方のわからないところを尋ねた。Eメールの電源を入れることを教えてくれていなかった。エンジンカムのことなどを報告。

日誌: 1993.12.01

ヒロは今日は良い天気であった。しかしマカアから下山の時にはやはりかなりの雨にであった。今朝は7時過ぎに Ifa Hilo に行くも成相さんは来ていなかった。しばらく三蔵との交信記録を眺めているうちに成相さんがやってきた。今日はまず、郵便局に行って、宮下君の郵便物を転送することから始める。結構重要な手紙の転送だったはず、3通。覚えてるのは、BANK OF HAWAII, HILO HOSPITAL, もう1通は忘れた。カラスターの郵便局にしか行ったことがなかったが、空港近くの郵便局もなかなかいい。次にガソリンを入れる。14.338ガロン入った。23.50ガ、261.6マイル(トク)の走行キロは237.55マイルだが、安いのかどうか、計算してみなくてはわからない。宮下君から聞いたE-Mailの送信、受信方法を手順通りにやってみると、うまくいくではないか。どうして成相さんはこれを有効に使わなかったのだろう。E-Mailの練習をしていたりして、アホリックを出るのが遅くなったけれど、登る途中、レンジャーを見物、出るとき速く右に曲がって、宮下君が手術をした Hilo Hospital の脇を通過して、苦労してカラスターにた。山頂に着いてエンジンカムの電圧チェック(N0.1 =12.29v, N0.2=12.55v, ソーラーバッテリーはいずれも12.55v, 昨日はソーラーバッテリーには繋がらなかった(ソーラーバッテリーだけの電圧は20.98v)。ワイミカは190、ガス露出1回、13:57、14:00に1回転くのに無駄なことをした。14:00にシャッターが下りて今日14:00のカットは192。大成ハワイ事務所へ、大成ハワイの相馬さんがいた。自己紹介、名刺交換、電気・施設が専門とか。運転手のNAKAYA さんが挨拶をした。ずいぶんと控えめな人で成相さんとは逆の人だ。名刺を渡した。大成ハワイ事務所で昼食、そこに成相さんがいて、また教育が始まった。大成ハワイでみんなと食事をするという人々と話せるからできるだけそうするといふ。しかし最初の日、みんなが食事が終わった頃、事務所まで食べるのがいいと、そのようにしたのは、他ならない成相さんではないか、山頂のみんなに気を遣わせないためにそうしているのだと思っていたのに。自分が自分の客を連れてくる時には、勝手にやって、中桐のやることはいちいち酌にさわるのだろうか。今日は3日目でいろいろなことが見えてきた。山頂にクレーン車が3台。11月-997の鉄骨の2階から上の部分を今日から組立始めた。1階部分はナナリ到着前に組んであった。昨日はKECKとの境界に覆らせてあった。この作業は昼休みも休まない

(裏面に続く)

で進んでいた。制御棟のワークも昼休みにも働いていた。大型搬入口の所だけに下から足場が組み上げてある。リングカーのコンクリート型枠の下部部分をつくるのだろう。アス線の埋めるところをかなり細かくみることができた。ト-4外側に2重のリングになるようで、埋める所に黒いカーン状のコンクリートをミキサーと同じようなもので練って、モルトのように埋めていたGEMという商品名が書いてあった。"What is this?"と埋めているワークに聞いたら、この土地はアスがあり効かないから、アスの効果をあげるために埋めているとの説明であった。are you engineer? と聞かれたので、I'm an astronomer. と答えておいた。アス線の交差する点は溶接していた。なかなか見ていると手抜きは一切していないように見える。リングカーの鉄筋の配筋は、ILV-997-から右側4本目の柱から、右回りに進んであって、21本目の所まで組んである。型枠の板が揚げつつあり現在16-17枚が上がっている。鉄階段が2カ所着いているが手すりができるまで使わない出くれと玉栄さんから言われている。リングカーの下のコンクリート受けの板は、大型搬入口の両側の柱2本分とILV-997-の両側柱2本分の4本分を除いて下の板は張ってある。ILV-997-を立てる作業を興味深く成相さんが見ていたが今日のことにならなかった。ILV-997-の後ろの鉄骨を立てようとしたところ、ル-2のヒ-4がゆがんでいることが判明し、ル-2を倒したり点検していたが、今日の作業になりそうも無いので下山。途中、ホ-40-1のハタキで一眼り。下山、JACのところ、コエハ通りからのところが閉鎖されているところを見た。ワークスへ行って写真の焼き付けを頼んできた。すぐ日本人とわかるらしくできあがりは金曜日といってくれた。昼休みに成相さんと1時間ホトのことでしばらくやりあった。このため、ワークスの2枚いづらが知りたかった。ワークスでワークシートを買った。

玉栄さんから聞いたこと。山頂のワーカーは、7時~17時の勤務を月~木までやって、週末は家に帰る。以前は仕事をしたものは金曜日に働いてもらって、ホ-ワークを支払っていたが、今は止めている。ホ-ワークに支払われるのは150%ということでkewitにしてはたまらないということのようだ。山頂の仕事ということでの割り増しは10~15%ということだから我々はほとんどない数字を聞かされているものだ。もっともkewitが支払う金がそうということで、kewit が大成にいくら要求しているかは別のことだそう。

日誌：1993.12.02

朝、出かける前に、三菱の新倉氏から電話、夕方ワカソコから来ているル-2と夕食に招待したいとの誘い、OK。宮下君へのFAXをワープロで作ってから出かけたので遅くなった。今朝は8時頃に Ifa Hilo にいくと成相さんは来ていた。連絡事項、ここ何日かの分担を相談。成相さんと別れてマツカアに向かう。今日は上のル-2の議論の入り口から入ると、なんとまず Alan Tokunaga が目についた。「アラン」と声をかける。話していた相手に「これは中柄、すばるプロフェットのvery important personだ」と紹介してくれた。相手はロンケ-ル-MKSSのマネージャーである。まだ話があるようなので、ベランダで外を眺めているとまもなくアランがやってきてしばらく話した。[今、ロジエたちとCFHTで adaptive optics の観測に来ている。昨日はたいへんシーイングが良く、0.8秒角だったと言っていた。彼は12月22日から休みで、香港、日本を旅行するそうだ。

山頂に着くと、まず大成ワークの相馬さんであった。よろしくと挨拶をした。相馬さんと冬季工事について少し懇談。契約が細切れで仕事がやりにくい、来年の工事のためには、そのためにこの冬やっておかなければならないことがある。今年は天気が良くて、こんな天気奈良冬場の工事何の問題もない。できればやりたいと言う意向のようであったが、来週の検査、施設課との話で決まることで我々からとかくは言えない。相馬さんの話だと検査までには、小平さんの言っていた広く展開している作業場は整理するとのことであったが、もはやコーンの底は、完全に車が走り回り、作業場として使われてしまっていて、今更ものをどけても、自然保護の蜘蛛を助けられない気がするが、元に戻しておくことも大切ではある。確かに工事現場の大作業場の大きな集落ではあるが、非常識に広く展開している感じ(中柄の感じなどどうでもいい、という声が聞こえてくる)は無い。それより狭いところに展開させて、事故を起こすことの方が心配される。何やら打ち合わせで忙しそうなのでひとりでサイトに行く。

玉栄さんから聞いた話では、三鷹で少し話題になった制御棟の北東に少し離れたところにある、太い大きなメタル製の筒は、浸透枘が埋まってしまふのをカバーするために設置したものでそのままになるかも知れないが、シホ-リ-なものであるそうだ。これが設置された理由は、helcoの受電ボックスとスッチボックスのコンクリートの台から外側に10feet土盛りが必要だと書かれて、土盛りするために浸透枘が埋まってしまふのを選べるために設置した由。

玉栄さんの案内で地下室を見せてもらった。油圧の油が漏っていくビットだと浅い60cmくらいの深さ5cmくらいの溝があった。ILV-9室、ILV-9機庫室、制御棟への通路がILV-997-の横の所まで進んでいた。この通路の両側、制御棟の1階の南側など梅戻しをやっており、これは非常に丁寧にやっており、6インチ埋戻しして、適当に水を置き、コンパクションをやって、4インチの厚さに固め、絞まり具合を測定して、規定の97%までいったらOKとして進めていた。埋戻しのワーカーの仕事ぶりを眺めていると、アメリカの柄がただの棒のスコップで土を埋め戻しているのだが、雑な作業ではなく、大きな固まりは一つ一つ取り除いているのには感心した。埋戻しの土は残土の一時置き場から横幅の広いショ-40-9-で運んで来ていた。

制御棟の1階の北東の1角の型枠がほぼ完成し、完成しているドーム下部の洗浄液ビットとともに、明日12月3日にコンクリートの打設を行うそうだ。昨日、65x70x100のヒ-4が重んだ件は、今日さっそくインダ社の人が来て、修理して、使用できるようになったが、ILV-997-の組立をやりかけて連絡通路の東側の埋戻しの作業に入った。宮下君の知らせしてきたコンクリート打設の時使用するバケツと称する奴で埋戻しの土を入れていた。ト-4下部鉄骨の下は、基礎コンクリートのアンカ-ボルトに設置されており、基礎コンクリートとは5cmほどの空間があり、それをコンクリートというやつで埋めていく作業が始まり、そのコンクリートの収縮テストを同時にやっていた。収縮しないセメントということであった。このセメントはお湯で泥状にして狭い空間にもよくはいる性質のものようだ。リングカーのコンクリート型枠を作る作業が進んでいるが、この型枠、きちんとドームの形状に併せて円弧型をしているから驚く。幅2.5mで直径40mを考えると良くもきちんと思える。今日はHELCO、HAWAIIAN TELの作業員も来ていて、設置した4インチパイプにつまみがないか、実際にその太さのものを通してみる検査をやっている、OKだったようだ。今日見たことは書いたつもりだが、山頂がケもあるから！。相馬さんに渡してくれたと言われた成相さんからのセイフティ委員会の資料を渡し損ねていて、成相さんに言われて玉栄さんに渡した。4時から下山、途中で成相さんを追い抜いて行ったが、サドルロードに出ても頭が痛いのが直らないので、マウナロアへの分かれ道に車を止めて、20分くらい休憩して、下山。休憩中に成相さんが心配して、車を止めてみて行った。5時に、IFA HILLO 事務所に着いて、三鷹に電話、宮下さんに頼んでいた返事が無いので、もう一度FAXをおくってもらったが、ワカソコだけではうまく行かないことが証明されて、受け取るまでに35分かかった。

ロソク-ンセ-では、クリスマス-チのようなものをホ-でやっていた。新倉さんの招待のロソク-ンのふじリストへ行く。受付にいたジ-ズミに抱きつかれた。3年前に来たときも抱きつかれたが、今回の方がもっとなつかしい様子であった。さしみ定食を新倉さんと食べた。食事のあとで、成相さんの部屋でプランディでしばらく談話。

今、読み返してみると、誤字誤植も多いですが、悪しからず。